■市民の皆様からいただいた「市長への手紙」に対する回答の内容をまとめました。

○対象となった市長への手紙　　：９件
○対象とならなかった市長への手紙：２７件（匿名、回答不要、市政に直接関係のない内容等のもの。）

■対象となった市長への手紙の回答（受付年月　令和６年５月分）

対応状況凡例：○＝手紙の内容に応じて対応済
△＝手紙の内容を検討中
×＝手紙の内容に対応できない

NO.	種別	件名	要旨	対応		所管課
				内容	状況	
1	メール	2024年4月30日のメディア報道内容について	4月30日に各メディアが報道した件で質問いたします。 １．専門部会の仕切り直しとはどういうことか具体的にお教えください。 ２．いまある専門部会を一度解散・廃止する理由をお教えください。 ３．47項目（未解決30項目）はどうするのですか。 ４．川勝知事の再出馬を求める署名活動がおこなわれているようです。これについての感想やご意見をお聞かせください。 以上の4項目についてです。 よろしくお願いいたします。	今回、頂きました４つの質問のうち、質問１から３までについては関連がありますので一括して回答させていただきます。 静岡県中央新幹線環境保全連絡会議生物多様性部会及び地質構造・水資源部会（以下、「専門部会」という。）は、静岡県中央新幹線環境保全連絡会議設置要綱に基づき、平成26年４月に設置されたものです。 専門部会では、中央新幹線品川・名古屋間の工事前、工事中及び工事完了後において、地域住民の生活環境、周辺地域の自然環境及び大井川流域全体の水資源等が適切に保全されるよう、事業者である東海旅客鉄道株式会社が実施する事業が環境に及ぼす影響を継続的に確認し、評価していくため、科学的・工学的な議論が行われています。 今回、各メディアで報道されている件につきましては、これまでの専門部会は、川勝知事の下で設置され、その方針に沿って議論が進められている場であったと感じており、今後、水資源や自然環境の保全に向けた建設的な議論、そして、県民に分りやすい議論を進めていくためには、現在の専門部会を一度解散・廃止し、仕切り直しが必要ではないかとの考えから発言したものです。 そのうえで、「中央新幹線建設工事における大井川水系の水資源の確保及び自然環境の保全等に関する引き続き対話を要する事項」に記載されている47項目（未解決30項目）については、今後、静岡県が新たな知事の下で対応方針を示していくことが必要であると考えています。 次に質問４についてです。	○	戦略推進課 (36-7120)

				この件に関しましては、私がコメントする立場にはございませんので、回答を控えさせていただきます。 本市にとって、リニア中央新幹線整備に係る大井川水系の流量減少をはじめとする水問題は、島田市のみならず流域８市２町の60万人を超える住民の生活、そして経済活動に大きく関わる大事な問題です。 今後も、リニア中央新幹線整備によって市民生活や地域産業に影響がないように、大井川の水資源や自然環境の保全に向けて、国や県、流域市町と連携し、取り組んでまいりたいと考えています。		
2	メール	ゆめみらいパーク 遊具追加	先日、実家帰省中に磐田市の今之浦公園に行ったところ 「ふわふわドーム」と言われるひょうたん型？のトランポリン遊具がありました。ゆめみらいパークにも設置の検討をお願いしたいです。 できることなら夏の暑熱対策と劣化防止で屋根付きができたらいいなと思っています。予算の問題や混雑の問題等の課題もあるかと思いますがよろしくお願いします。 メリットとしてトランポリンは運動が苦手な子供も楽しみながら体幹・筋力を自然に強化できるそうです。 テレビや携帯動画がお手軽に見れて外に出て遊ぶ機会が減ってきてしまっているご時世なので公園に行ってみようと思える施設があったら嬉しいです。	「トランポリン遊具」が〇〇様のお子様をはじめとした児童、幼児の方々にとっての楽しみであり、魅力的なアクティビティの一つでもあることは理解しています。 御提案のような遊具を設置する場合、利用者の安全を確保するため周囲に相当のスペースを確保する必要があることから、空きスペースをボール遊びや休憩スペースとして多目的に活用していただいている現在の施設の状況を考慮した場合、新たな遊具の増設は現時点では難しいと考えております。 一方で、遊具を更新する必要が生じた際には、新たに設置する遊具の候補の一つとして検討の可能性があると思われますので、利用される多くの皆様に喜んでいただける遊具の設置という視点を踏まえ、〇〇様の今回の御提案を、今後の施設の整備等を行う際の参考にさせていただきたいと考えております。 本市では今後も、お越しいただいた皆様が、安全に楽しく過ごしていただける施設の運営に努めてまいりますので、引き続き御意見、御提案等お寄せくださいますよう、よろしくお願いいたします。	×	スポーツ振興課 (36-7223)

3	メール	4 月 30 日の定例会見等について	4月30日の定例会見について2点質問いたします。 １．4 月 30 日の定例会見で、県の専門部会についての発言がありました。前置きに「私個人の提案として」との文言がありました。この「私個人の提案として」を付けた理由をお教えください。 ２．専門部会の件について、個人としてではなく、島田市長としての御意見をお聞かせください。	現在、リニア中央新幹線建設工事に伴う大井川の水資源や自然環境の保全に向けては、国の有識者会議やモニタリング会議、県の専門部会で議論がされているところであります。 また、大井川流域８市２町においては、リニア中央新幹線建設工事に伴う諸課題に対し、流域の関係者が一体となって対応することを目的として県、流域市町、利水者によって設立された「大井川利水関係協議会」において議論がされているところであります。 ご質問いただきました4月30日の定例記者懇談会における私の発言については、「大井川利水関係協議会」において議論されたものではなく、個人の考えとして発言した内容であることから、「私個人の提案として」と前置きしたものであります。 本市としましては、専門部会のあり方も含め、リニア中央新幹線建設工事に伴う大井川の水資源や自然環境の保全に向けては、今後、静岡県が新たな知事の下で対応方針を示していくことが必要であると考えています。	○	戦略推進課 (36-7120)
4	メール	自宅近くの保育園に通えないのですが。	先頃地元有志が集まった花見で話題になったのですが「近所の未就学児が○○保育園に通えていない。○○保育園が見える所に住んでいるのに、他の幼稚園や保育園に割振られて通っている。」という話です。当然、○○保育園を希望したらしいのですが、市役所から、ダメ、通えません。との事で△△園になります。と一方的に割振られたとの事で、皆で、「かわいそうだね。園が見えるところに住んでいるのに変だよね。」という話になりました。何か訳、理由があってそうなったのかもしれませんが、我々地元としては、「地域で子供を育む」事をモットーとしており、地元では、子供会とタイアップして各種行事（花見、バーベキュー、祭りなど）を開催しています。見える所にある○○保育園に通えないということは誰が考えても、はなはだ疑問でなりません。皆、変だねー！と言っています。我々地元は○○保育園に協力しています。それは○○保育園が地元にあるからです。そして皆、保護者会会長をやっています。来春以降、近隣の子供が希望した場合には是非とも○○保育園に通えますように、配慮いただ	さて、保育所等は、誰もが居住地に関係無く通園施設を希望することができますが、入園調整の結果次第では、必ずしも希望通りの施設に通えるというものではございません。 市が実施する保育所等の入園調整とは、御両親の就労時間や兄弟姉妹の通園状況、ひとり親世帯に該当するか否か等を「利用調整基準」により客観的に点数化し、保育の必要性が高い（点数が高い）方から希望する園に入園できるようにしています。（ご参考に「入園申込　利用調整基準」を添付いたします。） このため、○○保育園は、受け入れできる人数以上の入園希望者あったため、入園できない方には第２希望・第３希望の保育所等をご案内させていただきました。 ○○保育園が、多くの方々から選ばれる魅力ある保育所であることは、○○様をはじめとする地元の皆様のご協力によるものと感謝申し上げます。 地域で子供を育むという観点から言えば、地元の園へ通うことが理想であると認識しておりますが、入園調整の結果によっては、御希望に添えない現状	×	保育支援課 (36-7195)

			きたいと思います。	であることを御理解いただきますようお願い申し上げます。		
5	メール	5 月 10 日付の回答（2024 年 4 月 30 日のメディア報道内容についての回答）について	「今回、各メディアで報道されている件につきましては、これまでの専門部会は、川勝知事の下で設置され、その方針に沿って議論が進められている場であったと感じており、今後、水資源や自然環境の保全に向けた建設的な議論、そして、県民に分かりやすい議論を進めていくためには、現在の専門部会を一度解散・廃止し、仕切り直しが必要ではないかとの考えから発言したものです。 ・そのうえで、「中央新幹線建設工事における大井川水系の水資源の確保及び自然環境の保全等に関する引き続き対話を要する事項」に起債されている 47 項目（未解決 30 項目）については、今後、静岡県が新たな知事の下で対応方針を示していくことが必要であると考えています。」 １．「建設的な議論」とありますが、ここにある「建設」とは、リニア中央新幹線の現在の計画の南アルプスルートを指しているのですか。そうでしたらその理由をお聞かせください。もし、そうでないとしたら何なのかを具体的にお聞かせください。 ２．「川勝知事の下で設置され～」とありますが、もし、知事が前石川知事等他の知事であったならば仕切り直しは必要ないということですか。そうでしたらその理由をお聞かせください。 ３．市長がお望みの建設的な議論をするためにも、市長自ら流域市町の代表として専門部会に加わることをお勧めします。外から野次馬のような言動をするのではなく、議論に加わり、意見や要望を強く述べていただくことを期待します。これについて一言お願いいたします。 ４．リニア問題に関して、先日、岐阜県瑞浪市で水枯れの問題がありました。これについて感じたことを一言お願いいたします。 ５．もし、以上の質問の中に、コメントする立場でないと判断された質問がありましたら、その理由をお願いいたします。 以上 5 点よろしくお願いいたします。	今回、頂きました４つの質問のうち、質問１と２については関連がありますのであわせて回答させていただきます。 「建設的な議論」とは、リニア中央新幹線南アルプストンネル工事に伴う大井川の水資源や自然環境の保全に係る様々な課題に対し、解決に向けた議論を行うことです。 よって、知事がどなたであったとしても「建設的な議論」がなされなければ仕切り直す必要があると考えます。 質問３について、専門部会は静岡県が静岡県中央新幹線環境保全連絡会議設置要綱に基づき、設置されているものです。 事業者である東海旅客鉄道株式会社（以下「ＪＲ東海」という）が実施する事業が環境に及ぼす影響を継続的に確認し、評価していくため、各委員の学術的な見識に基づく科学的・工学的な議論が行われている場であり、流域市町の意見や要望を発言する場ではございません。 質問４について、岐阜県瑞浪市における井戸などの水枯れ問題は、承知しています。 報道にあるとおり、現在、事業者であるＪＲ東海が井戸水を上水道に切り替える工事をするなどの対応をしているとのことでありますが、ＪＲ東海は、モニタリングにより井戸などの水位低下を令和６年２月に認識しておきながら、岐阜県に対し、約２か月後に報告がなされたことに関しましては、危機感・スピード感を持った対応が図られるようＪＲ東海に求めてまいります。 いずれにしましても、国や県も含め、その動向を注視してまいりたいと考えております。	○	戦略推進課（36-7120）

6	メール	リニア中央新幹線正しいことを市民に知らせてください	現在静岡県知事選挙が５月 25 日投票を目指して各候補が県民に政策を訴えています。論点の一つにリニア中央新幹線（以下リニア）の賛成反対があります。JR 東海、国、マスコミ、大学教授がいうリニア報道は嘘です。市長様に置かれては JR 東海に聞いて正しい情報を得て正しい情報を市民に知らせてください。 ①リニア中央新幹線で所要時間を、東京－大坂６７分東京－名古屋４０分と JR 東海、沿線知事、マスコミ、大学教授たちは言っていますがこれは嘘です。この時間は地下４０m 品川駅、地下３０m 名古屋駅、地下４０m 新大阪駅の所要時間です。地上への乗換３０分、東京-品川６分を加えると、東京－新大阪は１０３分東京－名古屋は 76 分が正しい所要時間です。 ②「リニア中央新幹線工事による大井川の水問題はないと有識者会議で結論が出た」と JR 東海、マスコミは言いますがこれは嘘です。有識者会議の結論は「推計されたトンネル湧水量は確定的なものではなく、また、突発湧水等の不測の事態が生じる可能性がある（中間報告書 P.26）」というのが正しいです。大井川地下水のように非可逆的事象に対しては避けるという事が科学的工学的結論です。 ③リニア中央新幹線は国策であると JR 東海、マスコミ、大学教授は言います。これは嘘です。現在のリニア中央新幹線の審議は交通政策審議会鉄道部会中央新幹線小員会で検討されたもので、審議未了です。正式には交通政策審議会陸上交通分科会での審議が必要です。 現在のリニア中央新幹線は東海道新幹線バイパスに中央新幹線の仮面をかぶせたものです。なぜこのような欺瞞をするか JR 東海葛西会長の心を探ると「諏訪を通る中央新幹線ができると悲願の東京－大阪を１時間で結ぶリニア新幹線が出来なくなる。そこで東海道新幹線バイパスに中央新幹線の仮面をかぶせた」のでしょう、リニア中央新幹線は国民のためより JR 東海の民間会社の私利の新幹線です。リニアの報道は日露戦争、大東亜戦争、に次ぐ JR 東海、国、マスコミの暴走で、国民を愚弄するものです。	リニア中央新幹線は、ＪＲ東海が東京都・名古屋市間について、環境影響評価の手続きを経て、平成26年10月に国土交通大臣から工事実施計画について認可を受けている事業であります。現在も、ＪＲ東海は、静岡県内での工事着工に向けて、静岡県などと工事に必要となる手続きを進めている最中であると認識しております。 リニア中央新幹線建設工事に伴う大井川の水資源への影響につきましては、国のリニア中央新幹線静岡工区有識者会議が令和３年12月に公表した「大井川水資源問題に関する中間報告」の中で、水収支解析による解析結果として、トンネル掘削に伴う大井川表流水への影響については、「トンネル湧水量の全量を大井川に戻すことで中下流域の河川流量は維持される」とされております。 しかしながら、これらの解析結果には、不確実性が伴うため、工事前はもとより、工事中や工事後も含めて、継続的かつ適切にモニタリングを実施し、トンネル掘削に伴う水資源への影響を把握し、適切な対策を講じ、不確実性の低減を図ることを事業主体であるＪＲ 東海に求めています。 こうしたことを踏まえ、国は令和６年２月、「リニア中央新幹線静岡工区モニタリング会議」を新たに設置し、議論を開始したところであります。 リニア中央新幹線整備に係る大井川水系の流量減少をはじめとする水問題は、島田市のみならず流域８市２町の60万人を超える住民の生活、そして経済活動に大きく関わる大事な問題です。 今後も、大井川の水資源の保全に向けて、国や県、流域市町と連携し、取り組んでまいりたいと考えています。	○	戦略推進課 (36-7120)

7	メール	島田市立総合医療センターへの交通手段について	旧川根町の住民で島田市立総合医療センターへ通院されている方も多くいらっしゃると思います．高齢化が進む地域のため自家用車の無い方や独居の方も多く通院手段に悩まれている方も多いと思います．以前は大井川鐵道も本数が多くありましたが，現在は極度の減便と観光列車主体の運行となり，朝夕の通勤通学以外には実質的に利用できない状態です．川根温泉行きのコミュニティバスを家山駅経由にしていただき以前に比べると利便性が向上していることには感謝したいと思います．しかし，高齢者の視点からすると島田市立総合医療センターには乗り換えが必須であり，タクシー乗り継ぎも１便のみで，利用時間帯も限られます．全てタクシーを利用した場合と比較すると時間は倍ほどかかると思います。全てタクシーを利用すると川根地区からは片道 5000 円程度はかかるため，往復利用では出費が多くなります．抗がん剤治療や放射線治療などでは月に何回も受診が必要であり，経済的負担により治療を断念せざるをえない方もいらっしゃると思います．川根本町には島田市立総合医療センターへの外出支援サービスがあり，負担軽減措置がなされています．川根の方に限らず、初倉地区や旧金谷町の方々も同じ状況と思います．島田市立総合医療センターへの長距離利用の高齢者などに対するタクシー代の助成を検討していただけたらと思います。	川根地区におきましては、高齢化率が高く、公共交通も少ないため、医療機関への通院や日常的な生活における外出の移動手段が不便な状況にあります。 本市では、平成15年度から川根地区を対象に、外出が困難な高齢者等の日常生活の利便性を高めるため、島田市川根地区移動支援サービス事業を実施しています。この事業は、川根地区に居住する要介護等の高齢者や、身体障害者等で公共交通機関を利用することが困難な方を対象に、外出のための移動を支援するサービスですので、御活用いただければと存じます。 御要望のありました、川根地区等へのタクシー代の助成につきまして、市としてこのような助成制度を検討した場合、公平性や高齢者の人数等から大きな費用が必要となり、実施は難しいと考えておりますので御理解いただきますようお願いいたします。 なお、障害者手帳をお持ちの方に対しては、手帳種別に応じた割引制度と、等級に応じて御使用いただけるタクシー券交付の事業を実施しており、移動が困難な方への支援に努めているところです。	×	長寿介護課 (34-3293)
8	メール	リニア関連の問い合わせに対する島田市の回答について	回答頂いたものは市長の言葉ですか？ 今までの市長の発言とは程遠いものと考えます！ 疑うわけではありませんが、本当に市長の考えですか！ 島田市長染谷氏はこの文内容の飲料として利用されるではなく、食品や製紙、製薬などの工業やお茶を初めとした農業など水を使う様々な産業をこの地域に生み出し、流域で暮らす私達にとって、大井川はかけがえのない存在でありとの言葉は一度も発言しておりません！ また、県の専門部会についても解散は発言しましたが、新知事のもと改めて発足すべきなどとも一切発言しておりません！ 私への回答も不足しております！ もし岐阜と同じ事が起こったら染谷市長は流域市	まず、〇〇様が御指摘されている、「流域で暮らす私たちにとって、大井川はかけがえのない存在である」という回答については、島田市長としての考えであり、リニア中央新幹線整備に伴う様々な発言は、こうした考えのもと発言しているものであります。 次に、県の専門部会に関する発言については、科学的、工学的に議論する場は必要と考えていますが、新しい知事の下で、水資源や自然環境の保全に係る様々な課題に対し、解決に向けた建設的な議論、そして県民に分りやすい議論を進めていくには、現在の専門部会の「仕切り直し」が必要ではないかとの趣旨から発言したものです。 次に、リニア中央新幹線のトンネル掘削工事が行われている岐阜県瑞浪市において、井戸やため池の	○	戦略推進課 (36-7120)

			民、流域事業者に対しどんな保証をするのか？ 全て回答して下さい！ これは流域市民、事業者にとって生死をかけざるをえない問題であることをしっかり心に刻み回答お願いします。	水位低下が確認された事案については、報道を通じて承知しています。 　現在、国や県においては、リニア中央新幹線南アルプストンネル工事に伴う大井川の水資源と自然環境の保全について議論されているため、補償や補填について、具体的な議論はされておりませんが、今後、議論が必要であると考えております。		
9	メール	リニア新幹線問題	本日のTV出演での内容について 3者協議と言われましたが5者協議ですよ！ 各市町長と県（政治的）、JR との考えでしょうが、もっとも重要な各市町民と各流域の事業者ですよ！我々は死活問題！各市町長は代弁できません！ 市町民と流域の事業者の出席者は希望者全員で意見、質問は全ての市長民と流域の事業者ができる！ これでなくては納得できません！ 次に JRは信用出来ない！ 理由 岐阜問題の詳細を未だに流域の関係者に説明していない！ 染谷市長は今から聴くなどと言っていますが何故今まで放置していたのか？ 憤りを伝えます。	はじめに、本市では、リニア中央新幹線南アルプストンネル工事に伴う流域住民や事業者の声を意見交換会など、様々な機会を通じて国や県、ＪＲ東海などに伝えています。 　そのうえで、今回新たに就任された鈴木康友静岡県知事から「国・県・流域、そしてＪＲ東海の４者が一堂に会して認識を共有することが重要」との発言がありました。 　本市としましては、こうした場においても、流域住民や事業者の不安や懸念など生の声を直接、国や県、ＪＲ東海に伝えてまいりたいと考えています。 　次に、リニア中央新幹線のトンネル掘削工事が行われている岐阜県瑞浪市における井戸やため池の水位低下事案について、本市としては、本事案の認識後、静岡県及びＪＲ東海に経緯等の事実確認を行いました。 　なお、本事案を踏まえたリニア中央新幹線南アルプストンネル工事における高速長尺先進ボーリングに関する対応等については、静岡県とＪＲ東海との間で協議され、ＪＲ東海から静岡県に対して、これまで示していたリスク管理に加え、観測井の地下水位の観測頻度を増やすことや水位低下の傾向が確認された場合には速やかに静岡県へ報告することなどにより、双方向のコミュニケーションを大切にしながら、真摯に取り組んでいくとの回答があったことを承知しております。	○	戦略推進課 （36-7120）